

スーパープレゼンテーションアワード原稿

タイトル：『時間の価値』

皆さんは毎日の時間をどう生きてますか？

「翔！次は夏に会おうな！」

「おう！楽しみにしてるぞ！」

10年前の年末、僕が親友の拓とした約束です。
しかしこの約束が果たされる事はありませんでした。

その約束から数ヶ月後。
次に会った彼はただ冷たく、横たわっているだけでした。
…自殺でした。

当時20歳をなった僕達は、僕は社会人として拓は都会の大学に通う学生として、
お互いに夢を追い合っていました。

「俺は大学卒業したら、プロのバンドマンになる！」
「だからまずはバンドを組んで週末にLIVEして、CD作って売るんだ！」

夢を言葉にして、それを形にしていく彼が親友であると同時に憧れの存在でした。

そんな彼が突然死んだ。

『大人は俺の夢を否定しもしない。こんな夢も希望もない世界も、くだらない大人たちが作った社会もウンザリだ。俺は光ある世界を目指す』

これが彼の残した遺書の1文でした。

全く信じられなかった。

彼が年末に帰省した時、最後に会ったのは僕でした。

もしかしたら彼はその時にSOSを送っていたかも知れない。

暗い表情をしていたかも知れない。

でも僕は彼の苦しむ異変に気がついてあげられなかったんです。

拓の口癖は

「1度きりの人生楽しまないと！」

「苦しくなったら立ち止まれば良い！」

「物事何とかなるさ！」

この言葉に僕は何度助けられた事か。

僕らが高校時代。

僕の両親が離婚して母子家庭になった後、母が倒れて入院した時。

3兄弟の長男としてやりたい事を全て我慢して、まともに学校に行かずに働いていた。

その頃に遊んでる友達や部活をしている友達が、愚痴や不満を言ってるのを聞いては

「両親がいるくせに、親の金で好きな事が出来てるくせにウダウダ言ってるんじ

ゃね！」

って噛み付いてはケンカをしていました。

そんな時も荒れた僕の隣で

「大丈夫だから。今だけだから」

って笑顔で話す彼にいつも救われていました。

そうやって僕が1番つらい時を支えてもらっていたのに、僕は彼の1番つらい時を救えなかった。

「大丈夫だから。今だけだから」

と語ってくれた彼は自分の意思で、自らの手で、命の時間を永遠に止めた。

「もっとちゃんと拡と向き合えてたら、もっと2人の時間を大切に出来てたら…」

僕は自分を責めて、ただ泣くことしか出来なかった。

そして、泣き続ける中で『誓いの決意』をしたんです。

『あいつが生きる事を諦めたこの世界であいつの分まで夢を叶えて楽しく生きてやる！』

そして僕が死んだ時

「お前が見限った世界も、大人も捨てたもんじゃなかったぜ！」

って証明してやる！

それからの僕は拡に習って、自分の夢や想いをどんどん言葉にしていきました。結果的に沢山の仲間や大切な人達が出来て、いろんな夢を叶える事が出来まし

た。

「拡！見てるか！俺の人生はめっちゃ楽しいぞ！全部お前が教えてくれた事なんだぞ！」

そう思っていた矢先、僕の人生を揺るがす出来事が起こりました。

2016年10月。

僕は脳の病気に掛かり、脳死の余命宣告を受けたんです。

「後7年だと思ってください」

「え？どういう事ですか？」

「平川さんの頭の中の記憶を管理している海馬っていう部分が収縮しています」

「このまま行くと後7年しか生きられないかもしれません」

「俺、死ぬんですか！？」

「長くて7年だからいつ死ぬかわかりません」

「それに、記憶を管理している場所が収縮しているから、命とは別にいつ何の記憶が消えてしまうかもわかりません」

「何とかならないんですか！？」

「…残念ですが、今の医療では治療法も原因もわかりません」

「そうか…次は俺の時間が止まる番なのか…」

僕の目の前は真っ暗になりました。

そして、『7年後に死ぬ』と言う事よりも、僕の中の大切な記憶が消えていく事に寂しさを感じ、恐怖を感じ、怯えていきました。

「寝て起きたらここがどこかわからなくなったらどうしよう」
「起きた時に一緒にいる人がわからなかったらどうしよう」

不安で夜、眠れなくなって涙する事さえありました。

でも、そんな時に僕を支えてくれたのはあの言葉でした。

「たった1度の人生楽しまないと！」
「苦しいなら立ち止まれば良い！」
「何とかなるさ！」

この言葉が僕に生きる力を与えてくれました。
そして僕の『誓いの決意』を思い出させてくれたんです。

「そうだ！俺はあいつの分まで楽しく生きるんだった！」
「どうせ死ぬんだからやりたい事やらないと！」

そう思うと次第に心が楽になって、僕にとって当たり前になりつつあった全ての事が感謝に変わっていきました。

今日も朝しっかり起きれた事。
会いたい人に会える事。
やりたい事が出来る事。

そして…

僕の『命の価値』は『その時間をどう生きるか』で決まるんだとわかったんです！

例えば、朝起きた時

「はあ～今日も1日が始まるな～。ダルいな～」

じゃなくて

「今日も無事に起きる事が出来た！楽しい1日の始まりだ！」

って考えるようにしよう！

朝家を出る時

「今日は仕事して、友達と食事行って…やる事多いな～」

じゃなくて

「今日は大好きな人に会える幸せな日だ！大好きな仕事をしに行くぞ！」

って考えるようにしよう！

病気になった時に

「病気なんて最悪だよ～。ついてねえな～」

じゃなくて

「生きているし、まあ良いか！よし、休もう！」

って考えるようにしよう！

『あなたが信念を持たずに生きることは、
死ぬことよりも悲しい。若くして死ぬことよりも』

みなさんはどうでしょうか？
毎日をどんな風に生きてますか？
たまたま僕は医療の力で残りの命の時間が目に見えるようになりました。
でもみなさんだっていつか来る『その日』に向かってカウントダウンしてますよね？

だったらもっと本気で自分の命の時間を生きましょうよ！

だって僕も、みなさんも、みなさんの大切な人も、必ず死んじゃうんですよ！
みなさんが誰かと過ごす時、何かをしてる時、今日という日は2度と帰ってこないんですよ！
たった1度の人生なんですよ！

みなさんは、どう生きますか？
仕事をしている時。

どう生きますか？
隣に誰かがいてくれる時。

どう生きますか？
今の命の時間を。

僕は宣言します！

僕は「この限りある命の時間を楽しく全力で生き切ります！」

これが僕の亡き友への誓いです。

今日僕のことを知っていただき、本当にありがとうございました。